



浦野さとみ
区議会議員、作業療法士(元中野共立病院勤務)

写真は6年前、病院で働いていた時のものです

憲法まもる
日本共産党

Change!
THE
Tokyo's politics
SATOMI URANO
from
NAKANO

浦野
さとみ
都政を変える!



浦野さとみホームページ
<http://urano.jcp-seven.jp>
urano_satomi
urano.satomi

浦野さとみの公約

- 1/ 現場の声を届け、医療・介護・福祉充実へ
特養ホーム増設 国保料・介護料の引き下げ
小児救急医療ヘットの確保
- 2/ 子どもの笑顔があふれるまち
認可保育園の増設 保育士の増員と待遇改善支援
少人数学級の拡充 子どもの貧困対策の抜本的強化
- 3/ 若者が希望を持てるまち
高校生への給付型奨学金 若者雇用の促進
家賃補助制度への支援
- 4/ 災害に強い安全なまち
住宅の耐震化・不燃化助成の抜本的拡充
・豊洲移転は抜本的検討
・五輪予算はさらなる削減・透明化
・政治とカネ」にメスを入れます

AND MORE

URANO'S
MANIFESTO
公約

自己紹介
self-introduction

浦野さとみ (うらの智美)

- 【生まれ】 1980年 千葉県松戸市生まれ 36歳
- 【学歴】 千葉県立国分高等学校卒
千葉医療福祉専門学校卒
- 【職歴】 2003年 医療法人社団 健友会 中野共立病院 リハビリ室入職
2008年 リハビリ室主任
2011年4月 中野区議会議員選挙 初当選
2015年4月 中野区議会議員選挙 2期目
- 【モットー】 自分でやると決めたことは最後までやる
- 【趣味】 旅(沖縄県離島・竹富島)、ゆずのライブへ行くこと
ソフトボール、スポーツ観戦

ご連絡・ご相談は「日本共産党中野区議団」まで
☎03-3228-8873

中野の広場 日本共産党中野区議団は以上の見解を發表しました
2016年12月・2017年1月号外 中野区野方1-17-4 / 中野の広場社

浦野さとみさんは、中野共立病院で患者さんに接するなかで、命・健康を守る仕事の尊さを学び、医療・福祉などの切実な声を、中野区政に直接届けてきました。

数々の生活相談と向き、その難りがいのある姿は目をみはるものがあります。

この「暮らし、命まもる」使命感こそ、憲法を守り、都政改革に力をもつ必要な力です。必ず大きな力を発揮すると確信しています。

東京区議会議員
植木こうじ

浦野さんにバトンタッチ
情熱とパワーに期待!

私に倍する
ご支援をお願いします

BATON
PASS
バトンタッチ

POLITICAL
GESTURE 政治姿勢

Change!
THE
Tokyo's politics

私は中学校卒業時に脱毛症となり、高校の3年間はずっと帽子をかぶり通学していました。家族や友人はもちろん、医療関係者の寄り添った援助に感銘を受け、「人の役に立つ仕事がしたい」と思うようになりました。

リハビリの作業療法士として8年間、中野共立病院などで働き、「病气やけがをしてもその人らしく社会の中で生活していくことを援助する」この仕事に誇りを持ってきました。同時に、お金のあなで命と健康に格差が生まれ、必要な医療や介護が受けられない現状に大きな矛盾を感じてきました。

現場の声を届け「誰もが安心の医療・介護を実現すること」。これが私の原点です。2期6年の議員活動とあわせ、これらの経験を必ずいかします。

東京都は13兆円もの予算をもっています。大型開発を優先し、福祉や教育を大きく削減してきた石原都政以降の流れを、都民第一に必ず変えていきます。都議会の古い体質にメスを入れ、都民に開かれたクリーンな議会へと改革をすすめるため、全力を尽くします。



一緒に
change!

— 中野から 憲法を守り 都民第一へ — 都政を変える!

保育園・特養ホームさらなる増設を

小児救急医療の拡充を

豊洲移転は抜本的見直しを

五輪予算の削減・透明化を

東京都の予算はスウェーデン1国に相当。
自民党型の開発優先都政を
福祉・くらし優先へ切り替えれば
誰もが安心して働き、
暮らせる都市が実現します。

都政改革
の実力

No.1

日本共産党の17議席をさらに大きく

日本共産党都議団は、自民・公明などが与党の都議会で、新銀行東京の失敗、豪華海外視察など追及し、都民の立場で改革を真正面から提案してきました。

4年前の都議選で17議席となり、所有地を活用して保育園・特養ホームを増設し、政治とカネの問題の追及など、都政を前へ進めています。

現在、豊洲問題の真相究明、五輪予算のさら

なる削減・透明化に全力をあげています。都議団のかねてよりの提案が実り、保育予算を充実させてきました。また、都議に支給される日当を実費支給にする条例改正案を、自民・公明以外の6党派と共同して提出し、成立のために奮闘しています。

一貫して都民の立場で力をつくしてきた日本共産党都議団をさらに大きくしていただくことが、都政改革の確かな力です。

600件超!

2期
6年

一人ひとりによりそい生活相談



立ち退き問題
交差点の安全確保
マンション紛争
生活健康の相談

医療・介護現場の 経験をいかして

医療の現場から

- ・特養ホームの増設をねばり強く要求し実現。
- ・障害者の「足」の充実—自家用車のガソリン助成実現。
- ・介護職員や保育士の増員・待遇改善を要求。
- ・国保・介護保険料の引き下げを繰り返し質問。

住民とともに

- ・緑と広場をこわす平和の森公園再整備計画の見直し求め、利用者・住民とともに奮闘中。
- ・西武新宿線の連続立体交差事業—住民の声を、東京都、中野区、西武鉄道へとどけ、立ち退き問題に取り組む。
- ・数多くのマンション紛争にかかわり住みよいまちづくりに奮闘。

議会改革で奮闘

- ・区議団副幹事長として議会のムダを削り透明性をはかるために政務活動費の改善を要求。1円からの領収書添付を実現。

HISTORY

1993

学生時代—部活に明け暮れた日々

中学・高校の6年間、ソフトボール部に入り、キャッチャーやショートを守っていました。リハビリの専門学校では野球部に。苦楽をともにした仲間とは、今も交流が続いています。



1996

医療との出会い

中学校卒業時に頭部の脱毛症となり、高校生の3年間はずっと帽子をかぶり通学していました。とてもショックで、辛い思いもたくさん経験しました。この経験がきっかけとなり、医療関係に興味を持ち始め、困っている人の助けになりたいという気持ちを強く持つようになりました。



2003

就職—医療現場で感じた矛盾

2003年国家試験に合格し、中野共立病院に作業療法士として就職。現場で医療制度のさまざまな矛盾を体験しました。もっと医療を充実させ、誰もが安心して医療を受けられる世の中になりたいと思い強く、政治へ足を踏み出しました。



2011

石巻支援で現地へ10回

東日本大震災後、被災者支援で石巻市に10回行ききました。泥出し・救援物資の運搬・配給、仮設団地内での演劇等の開催など、中野のみなさんのご協力支援を受けてきました。



現在

「街頭なんでも相談」に参加

月に1回、中野共立病院の有志のみなさんが続けている中野駅北口の「なんでも相談会」に病院勤務時代から参加してきました。「ブラック企業」相談など、ここで寄せられた声を議会で取り上げ、改善をしてきました。

